

## 2014年、ミズベリング・プロジェクト、始めよう。

MIZBERING  
ミズベリング

### 規制緩和で、水辺は一気に開放へ。

河川は、水害から市民生活を守るという視点から、国や都道府県ごとに整備され厳しく管理されてきました。しかし昨今、水害対策だけでなく、水辺の美しいまちづくりを目指して規制緩和が進み、市民や民間のチカラ(カタイお役所では考えつかない知恵やノウハウ!)を積極的に活かそうと、全国の水辺は動き出しています。

商業ベースで水辺にカフェやテラスを設置したい!とか、イベントやコンサートをしたい!等、

水辺を愛してやまない皆さんの思いや夢をカタチにする可能性は、日々高まっています。

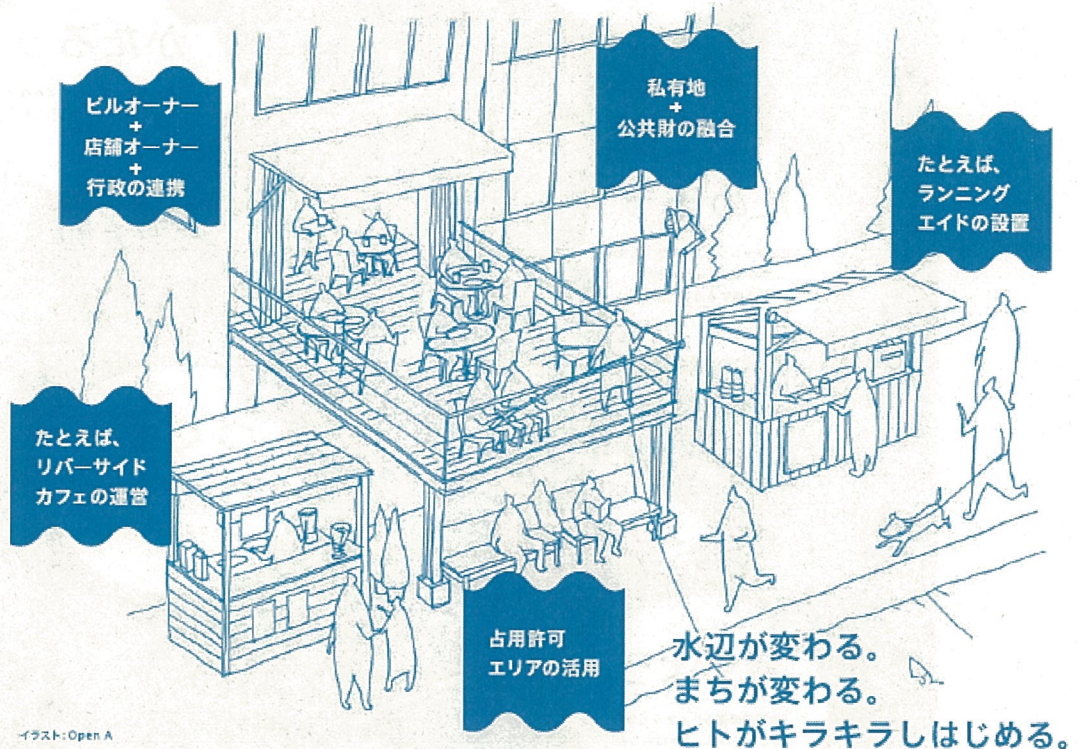


イラスト: Open A

### ミズベリング・プロジェクトとは

かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。ミズベリングは「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。

詳しくはWEBで→

<http://mizbering.jp/>

<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/mizube/mizbering/index.html>

# 水辺のアクションをみんなで起こせば、日本のまちはもっともっと輝くはずだ。

## ミズベリング、5つのアクション



### 1 つなごう

「水辺の未来」を考える人がつながれば、大きなムーブメントが始まるはずだ。

### 2 かたろう

「水辺の可能性」をみんなで掘れば、思いも寄らないアイデアが浮かぶはずだ。

### 3 ためそう

「水辺でのチャレンジ」が増えていけば、世の中はもっと水辺に注目するはずだ。

### 4 つくろう

「水辺を通したまちづくり」が進めば、日本のまちは世界がうらやまむちになるはずだ。

### 5 育てよう

「水辺での暮らし」をみんなで育てていけば、人生はもっと豊かになるはずだ。

## 水辺の利用は「ダメ! ダメ!」から、「やれるかも!」へ。

河川は、水害から市民生活を守るという視点から、国や都道府県ごとに整備され厳しく管理されていました。しかし昨今、水害対策だけでなく、水辺の美しいまちづくりを目指して規制緩和が進み、市民や民間のチカラ(カタイお役所では考えつかない、知恵やノウハウ!)を積極的に活かそうと、全国の水辺は動き出しています。商業ベースで水辺にカフェやテラスを設置したい!とか、イベントやコンサートをしたい!等、水辺を愛してやまない皆さんの思いや夢をカタチにする可能性は、日々高まっています。

#### <旧来の規制>

主体は公的機関に限定。公共性、公益性が重視されていた。

飲食施設 No  
民間施設 No

#### <規制緩和で>

民間の参入が可能。カフェ施設やイベント実施などが可能に。

イベント OK!  
オープンカフェ OK!  
売店 OK!  
船上食事施設 OK!  
川床 OK!